

コラム

「家族の思い」

私は、瀬戸内市で2人の知的障がいの子を育てている母親です。子どもの誕生から今日まで、こだわりが強く、コミュニケーションのとれない2人の子どもの生活は困難を極めました。医療、教育、福祉などの各機関の方々をはじめ地域の皆様方に支えて頂き、今私たち家族は本当に充実した日々を過ごすことができています。

落ち込んでいるときに、地域のお母さん達から「お兄ちゃん達、元気で頑張っていますか?」と声をかけられた時にはとても嬉しくて、思わず涙がこぼれました。こうした声かけは家族にとって本当にありがたく生きていく大きな力になります。

知的障がいの方への配慮は、一緒に暮らしている家族でも難しいものです。彼らからの少ない発信に想像力を働かせ、試行錯誤をしながら日々対応しているのが現状です。

彼らのことを一人でも多くの皆さんに知っていただき、もし、街などで困っている知的障がいを持つ方を見かけたら、優しく声をかけていただいたり、支援機関につなげて下さるだけでも助かります。

これからも、地域の皆様方の暖かい見守り、励ましをよろしくお願いいたします。

- ここで紹介している情報が、すべての知的障がい児・者にあてはまるわけではありません。
- 敏感で繊細な心を持った人が多いので、成人の場合はこども扱いせず、一人の社会人として接することが大切です。
- 障がいの有無に関わらず他者への理解は、かけがえのない個性をもった人として向き合うことから育まれるものだと考えます。知的障がいについて皆様の温かいご理解をお願いいたします。

相談・問い合わせはこちらまで

■ 瀬戸内市福祉部福祉課 障害福祉係 ■

〒701-4292 岡山県瀬戸内市邑久町尾張 300 番地 1

TEL : (0869) 24-8847 FAX : (0869) 24-8840

相談機関

■ 地域生活支援センタースマイル ■

〒701-4246 岡山県瀬戸内市邑久町山田庄 880-1

TEL : (0869) 22-9600 FAX : (0869) 22-9601

E-mail : setouchismile@gmail.com

■ せとうち旭川荘 ■

〒701-4301 岡山県瀬戸内市牛窓町長浜 4982-1

TEL : (0869) 34-6606 FAX : (0869) 34-6607



しってほしい わかってほしい 知的障がい

知的障がいってなあに?

- さまざまな原因による脳の機能障がいです。脳内の障がいのため、見た目に分かりづらい障がいです。
- 生活や学習面で現れる知的な働きや発達が同年代の人と比べゆっくりとしています。
- 障がいの現れ方は一人一人違います。
- それぞれの障がい特性に合わせた教育や配慮、支援により一歩一歩成長し社会参加しています。



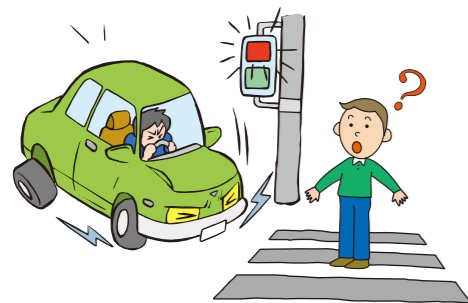
例えば こんな特徴がみられます!

コミュニケーションがうまくとれないよ



- 複雑な会話や抽象的な概念が理解しにくい。
- 理解できていなくても「はい」と答えてしまう。
- 質問にうまく答えられない。
- ことばの意味が分からないため、そのまま言い返す。
- 人に尋ねたり、自分の考えや気持ちを的確に表現することが苦手。

社会のルールがわかりにくいよ



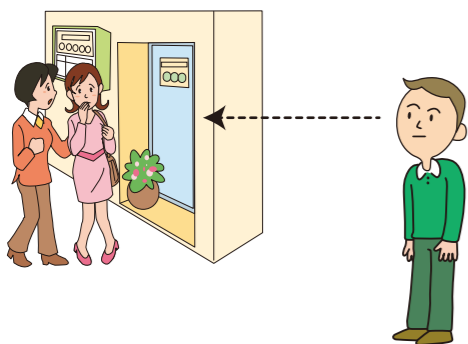
- 赤信号の交差点や遮断機が下りた踏切を渡る。
- 列に割り込んでしまったり、危険なことが分かりにくく飛び出したりする。
- お金の支払い方が分からない。
- 自分のものと他人のものの区別がつかない。

状況に応じた行動がにがてだよ



- いつもと違うことが起きてしまうと対応できない。
(例: 交通機関の遅れや運休、通行止め、急に時間割が変わる、災害等)
- 状況を判断して予想や計画を立てることが難しい。
- 病院で泣いたり、暴れたりして診察させてくれない。
- 多くの人で混雑している場所は刺激が多く苦手な人もいます。

行動が誤解されやすいよ



- ぴょんぴょんはねたり、体をゆすったり不審に見える行動をとることがある。
- 通行人を無表情に見ている。
- 独り言をいったり、突然笑いだしたり、同じことばを繰り返す。
- ひとつの行動に固執したり、ひとつの物にこだわりをもつ。
- 悪気なく必要以上に近づいてくる。

このような対応をお願いします!

- 話すまで、ゆっくり待ってあげてください。
- ことばは短く、具体的に話してください。
- 内容が理解できるように、ゆっくり簡単な言葉で話しかけてください。
- ことばだけで通じないときは、身振りや表情で伝えてください。
- 絵や写真で示すことも効果的です。
- 「はい」、「いいえ」で答えられる質問の方がよい人もいます。

- 声かけが聞こえていてもすぐに動けない場合があります。安全に配慮して誘導してください。
- 急に大きな声で注意したり、手を引っ張ったりすることは逆効果になることがあります。
- ゆっくり、やさしい口調で話しかけてください。強い口調やとがめるような表情は苦手です。

- 「〇〇分には動きます」など状況を分かりやすく伝えてください。
- タイマーを使ったり、数を数えたりすることで、残り時間が分かると、我慢できる人がいます。
- ことばより、視覚からの情報の方がよく理解できる人がいます。診察の内容や順番などを、事前に伝えることで落ち着く人がいます。
- 混乱が大きいときは、静かな場所で落ち着くまで見守ってください。落ち着いてから、困っていることを尋ねてください。

- 周りの人を困らせようとしているわけではありません。
- 思い込みで判断せず見守ってください。その行動の意味がわかる場合があります。
- 連絡先が分かれば、そちらに連絡してください。